

平成 21 年度事業報告

・事業の概要

1. 研究発表会（定款第 5 条 1 号）

（1） 3 月 17 日、18 日の両日、筑波大学春日キャンパスにおいて、第 105 回研究発表会を開催した。

・特別テーマ 「地球時代の OR (Operations Research for the Global Era)」

・特別講演（一般公開）

1) 三菱重工の環境・エネルギー事業への取り組み

大 宮 英 明（三菱重工業株代表取締役社長）

2) 半正定値計画と多項式最適化

小 島 政 和（東京工業大学教授・第 2 回近藤賞受賞者）

・発表件数 145 件

一般発表 92 件

企画セッション 53 件

・参加者数 393 名

（2） 9 月 9 日、10 日の両日、長崎大学文教キャンパスにおいて、第 106 回研究発表会を開催した。

・特別テーマ 「環境と OR」

・特別講演（一般公開）

1) 長崎でやれる温暖化防止と OR 手法

吉 田 博 久（長崎産業振興財団技術統括）

2) ハウステンボス ボタニカルリゾート構想

河 野 直 哉（ハウステンボス株執行役員パーク事業本部長）

・発表件数 132 件

一般発表 132 件

・参加者数 314 名

2. シンポジウム（定款第 5 条 1 号）

（1） 3 月 16 日、筑波大学春日キャンパスにおいて、第 61 回シンポジウム「地球時代の OR - CSR (Corporate Social Responsibility) と OR」を開催した。講演 6 件。参加者は 68 名であった。

（2） 9 月 8 日、長崎大学文教キャンパスにおいて、第 62 回シンポジウム「(地球環境を守る)大規模シミュレーション」を開催した。講演 4 件。参加者は 69 名であった。

3. 普及活動（定款第 5 条 1 号）

（1） OR セミナー

・第 1 回「実務に使える OR モデリング」を 7 月 31 日、東京国際フォーラムで開催した。参加者 46 名。

題 目	講 師
社会システム分析手法としての OR	大 山 達 雄 (政策研究大学院大学)
インターネットにおける最適化 - 検索連動広告での最適化モデルを中心として -	矢 島 安 敏 (株)ブレインパッド)

題 目	講 師
生産分野における実践的なモデリング	上野 信行 (県立広島大学)
輸送問題を解く OR モデルとカラム・ジェネレーション	伊倉 義郎 (株) サテック)
制約プログラミングとそのモデリング	野末 尚次 (株) 数理モデリング研究所)

・第2回「実務に使える OR ソフトウェア」を2月4日、(株)構造計画研究所本所新館で開催した。参加者9名。

題 目	講 師
データマイニング事例ご紹介 - Visual Mining Studio を用いて -	中園 美香 (株) 数理システム)
Visual SLAM のご紹介	指尾 健太郎 (株) 構造計画研究所)
SaaS によるロジスティクス最適化	伊倉 義郎 (株) サイテック)

(2) OR サロン

これまで、主として企業人会員を対象として「OR 企業サロン」「OR 企業フォーラム」を実施してきたが、今年度から企業経営戦略に関する話題についてその道のリーダーから講演いただき、講演者と参加者の交流を深めていただくことを目的として「OR サロン：レクチャーシリーズ」を始めた。

今年度は、今後の日本の新しい成長産業を立ち上げる意味でも、OR の新たな活躍の場としても重要な分野の一つと考えられるサービス・サイエンスを軸に「サービス・イノベーション」を取り上げ、4回の会合を開催した。

開 催	テ ー マ と ゲ ス ト ス ピ ー カ ー	参加者
第 1 回 (21.10.8) 於：東京	生活者起点の価値共創とサービス・イノベーションの進展 フューチャーアーキテクト(株) 副社長 碓井 誠	30 名
第 2 回 (21.11.26) 於：東京	サービス・サイエンスによる企業改革の実践 ワクコンサルティング(株) 常務執行役員 諏訪良武	17 名
第 3 回 (22.1.19) 於：大阪	サービス・サイエンスによる企業改革の実践 ワクコンサルティング(株) 常務執行役員 諏訪良武	21 名
第 4 回 (22.2.19) 於：東京	サービスの意味の変容と多様化：新しい競争力のからくりを探る 東京大学 特任教授 妹尾堅一郎	17 名

(3) 企業事例交流会

・第23回企業事例交流会は、第105回研究発表会(筑波大学春日キャンパス)にて3月17日開催。発表件数3件。

- ・第24回企業事例交流会は、第106回研究発表会（長崎大学文教キャンパス）にて9月9日開催。発表件数3件。

(4) 新宿 OR 研究会

昭和55年創設以来、年間10回の例会を開催している。テーマはOR関係の最近の動向に留まらず会員推薦の各界の話題など極めて広範、かつ時宜に適ったもので、メンバーの啓発、懇親を行っている。会誌に開催案内を掲載し、新宿地区を中心に会員の幅広い参加を呼びかけている。

4. 刊行物（定款第5条2号）

(1) 機関誌「オペレーションズ・リサーチ」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成21年3月2日	54	3	3,000部
平成21年4月1日	54	4	3,000部
平成21年5月1日	54	5	3,000部
平成21年6月1日	54	6	3,000部
平成21年7月1日	54	7	3,000部
平成21年8月3日	54	8	3,000部
平成21年9月1日	54	9	3,000部
平成21年10月1日	54	10	3,000部
平成21年11月2日	54	11	3,000部
平成21年12月1日	54	12	3,000部
平成21年12月25日	55	1	3,000部
平成22年2月1日	55	2	3,000部

(2) 論文誌（Journal of the Operations Research Society of Japan）和文論文誌（Transactions of the Operations Research Society of Japan）を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成21年3月23日	52	1	2,600部
平成21年6月17日	52	2	2,600部
平成21年9月28日	52	3	2,600部
平成21年12月24日	52	4	2,600部
平成21年12月24日	52		2,500部

（和文論文誌）

(3) 研究発表会アブストラクト集およびシンポジウム予稿集

春季・秋季研究発表会のアブストラクト集およびシンポジウム予稿集を発行した。

(4) セミナーテキスト

「実務に使えるORモデリング」「実務に使えるORソフトウェア」に関するテキストを発行した。

5. 日本学術会議並びに他学協会との連携・協力（定款第5条3号）

(1) 日本学術会議関連

平成18年8月から総合工学分野の連携会員として高橋幸雄氏（OR学会前副会長・東京工業大学）が任命された。なお、FMES関連では他に久米均氏（QC）、圓川隆夫氏（QC）、向殿政男氏（信頼性）が連携会員として任命され、主として総合工学委員会、工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会の中で活動している。

(2) 経営工学関連学会協議会 (FMES) 関連

経営工学関連 8 学会で構成する当協議会には、代表者会議のメンバーとして田口東氏 (中央大学) 上田徹氏 (成蹊大学) が参加している。平成 21 年度の FMES の活動は以下の通り、日本学会協議連携してのシンポジウム開催および JABEE 認定審査であった。なお、平成 22 年度より本学会が事務局を担当する。

シンポジウム委員会

平成 21 年度のシンポジウムは「経営工学関連学会協議会 25 周年・経営工学 100 年周期」として平成 21 年 5 月 15 日「世界不況に立ち向かう戦略的な企業経営」をテーマに、日本大学経済学部講堂において開催された。今年度の幹事学会は日本経営工学会であった。

FMES / JABEE 委員会

当学会からは運営委員に上田徹氏、小沢利久氏 (駒澤大学) が派遣されている。また、審査委員会にも OR 学会関係の有資格者を派遣し、経営工学分野の JABEE 認定審査に協力している。

(3) 日本技術者教育認定機構 (JABEE)

当学会は 2001 年 2 月に正会員として加入 (会費 10 万円) するとともに上記 FMES グループとして加入、その幹事会費分 (日本経営工学会、日本品質管理学会と当学会が各 10 万円) を負担している。JABEE は 2009 年 4 月 1 日付で一般社団法人「日本技術者教育認定機構」として登記された。高橋幸雄氏は FMES を代表して新法人設立時理事となった。

(4) (社) 日本工学会関連

工学系 101 学協会の連合体である (社) 日本工学会の諸活動に協力し、片山隆仁氏 (ボーイングインターナショナル) が評議員として派遣されている。また同会事務研究委員会に委員 1 名 (事務局長) が参加している。

(5) 横断型基幹科学研究団体連合 (略称: 横幹連合)

この連合は「社会発展の基礎となる新しい価値体系である横断型基幹科学技術の重要性を提唱し、その創造と進歩に資する活動を行うこと」を目的に計測自動制御学会、FMES メンバーなど 30 学会が参加して、平成 15 年 4 月に設立総会を開催し、正式発足した。当学会からは代議員として上田徹氏が派遣されている。

6. 他学協会との交流 (定款第 5 条 3 号)

他学協会の下記講演会等に協賛、後援した。

- ・生産システム部門研究発表講演会 2009 (日本機械学会)
- ・JSD カンファレンス 2009 (システム・ダイナミクス学会日本支部)
- ・計測・制御・システム工学部会シンポジウム (日本鉄鋼協会)
- ・計測自動制御学会関西支部「平成 21 年度講習会」(計測自動制御学会)
- ・第 28 回日本シミュレーション学会大会 (日本シミュレーション学会)
- ・第 17 回春季信頼性シンポジウム (日本信頼性学会)
- ・スケジュールリング国際シンポジウム 2009 (日本機械学会)
- ・2009 年春季全国研究発表大会 (経営情報学会)
- ・第 39 回信頼性・保全性シンポジウム (日本科学技術連盟)
- ・2009 年秋季全国研究発表大会 (経営情報学会)
- ・第 3 回フォーラム (日本鉄鋼協会)
- ・電子・情報・システム部門大会 (電気学会)
- ・第 11 回日本感性工学会大会 (日本感性工学会)
- ・スケジュールリング・シンポジウム 2009 (スケジュールリング学会)
- ・第 22 回秋季信頼性シンポジウム (日本信頼性学会)
- ・第 52 回自動制御連合講演会 (システム制御情報学会、他)

- ・計測自動制御学会システム・情報部門学術講演会 2009 (計測自動制御学会)
- ・教育フォーラム 2009 (プロジェクトマネジメント学会)
- ・2009 年研究発表大会 (日本リアルオプション学会)
- ・第 4 回フォーラム (日本鉄鋼協会)

7. 国際協力 (定款第 5 条 3 号)

- (1) IFORS (International Federation of Operational Research Societies) の副会長として大山達雄氏 (政策研究大学院大学) を選出し、各国の OR 学会との交流、協力を図った。
- (2) APORS (Association of Asian-Pacific Operational Research Societies) の副会長として大山達雄氏 (政策研究大学院大学) を選出し、アジア・太平洋地域の OR の発展と加盟学会の情報交換に協力した。APORS2009 が 12 月 6 ~ 9 日にインドで開催された。
- (3) IAOR (International Abstracts in Operations Research) の編集、発行に協力し、日本の文献抄録を送付するとともに、IAOR の国内頒布に協力した。
- (4) APJOR (Asia-Pacific Journal of Operational Research) の編集、発行、頒布に積極的に協力した。
- (5) EJOR (European Journal of Operational Research) の編集、頒布に協力した。

8. 受託研究活動 (定款第 5 条 4 号)

学会の公益活動の一環として、本年度も前年度に引き続き、(財)グローバル・インフラストラクチャー研究財団からの受託研究を「未来のインフラストラクチャー」研究部会を窓口を実施した。

9. 研究部会・研究グループ (定款第 5 条 4 号)

研究部会・研究グループ終了 / 中間報告

- 印 終了を示す
- *印 研究グループを示す
- 印 常設部会を示す

部 会 名	主 査 事	メンバー	開催	内 容	場 所
待ち行列	高 木 英 明 (筑 波 大 学) 加 藤 憲 一 (東 京 工 業 大 学)	30 名	8 回	待ち行列及び関連分野の専門家による研究発表会を開催し、最新の成果について意見交換した。学生・初学者向けチュートリアルを開催した。また昨年度に続き、研究奨励賞により若手研究者の優れた研究を表彰した。	東 京 工 業 大 学
数理計画 (RAMP)	水 野 眞 治 (東 京 工 業 大 学) 中 田 和 秀 (東 京 工 業 大 学)	30 名	1 回	9 月 24・25 日に第 21 回シポジウムを松江市で開催した。数理計画・最適化の理論及び応用の最前線で活躍している 14 名の研究者を講演者として招いた。多くの研究者や学生が参加し、最先端の研究成果について情報交換を行った。	く に び き メ ッ セ
評価の OR	上 田 徹 (成 蹊 大 学) 廣 津 信 義 (順 天 堂 大 学)	12 名	6 回	年 6 回の定例研究会を開き、毎回 2 名の講演者を招くことで、DEA を主とした OR での評価手法・意思決定手法に関して計 12 件の講演を行った。また、本研究部会が	政 策 研 究 大 学 院 大 学

部 会 名	主 幹 査 事	メ ン バ -	開 催	内 容	場 所
				ら第4回 DEA シンポジウム(台湾)に7名参加した。	
統合オペレーション	中 野 一 夫 (構造計画研究所) 山 田 郁 夫	23 名	4 回	主に実業界の会員をメンバーとし、マーケティング、環境、行政、事業継続のテーマで、それぞれ実践的にそれらの問題に直面している方を講師とし、統合オペレーションの観点から議論された。	学 士 会 館
意思決定法	大 屋 隆 生 (国士舘大学) 佐 藤 祐 司 (三重中京大学)	26 名	3 回	AHP を中心とした意思決定法に関する発表により、意思決定手法の理解を深め、企業や行政などの政策立案評価、マネジメントにおける適用性を高めることができた。	国 士 舘 大 学
安全安心学	氏 田 博 士 (IIR -総合工学研究所) 増 田 浩 通 (千葉工業大学)	15 名	7 回	本年度は研究部会の内容は、IT リテラシー、まずい学、事業継続計画、交通事故に対する法的規制、台湾新幹線プロジェクト、食品安全、エジプトの安全安心と多岐に渡り、充実した内容であった。	IIR -総合工学研究所
SCM時代の製造マネジメント	伊 呂 原 隆 (上智大学) 成 松 克 己 (東 芝)	30 名	10 回	最終年度として、様々な観点で製造マネジメントを議論する10回の会合を行ったほか、3月20日に開催する記念研究会の準備を行った。	青 山 学 院 大 学
未来のインフラストラクチャー	栗 田 治 (慶應義塾大学) 高 嶋 隆 太 (千葉工業大学)	20 名	13 回	インフラストラクチャーに関連する社会的・技術的な情報を収集・整理し、現状の分析ならびに将来のあり方に焦点を当てたORモデルによる分析を多面的に行った。各年度末には中間報告書を作成した。	日 本 G I F 研 究 財 団
防衛と安全	宝 崎 隆 祐 (防衛大学校) 小 宮 享 (防衛大学校)	23 名	10 回	毎回、防衛と安全に関する最新の研究状況や成果が、産・官・学からの幅広い参加者に対して報告された。施設見学会も実施し、現場における問題発掘や研究会の魅力化にも努めた。	政 策 研 究 大 学 院 大 学
若手によるOR横断研究	檀 寛 成 (関西大学) 林 俊 介 (京都大学)	8 名	6 回	若手の研究者や実務家によって、ORの諸分野についての研究発表が行われた。また、昨年に引き続いて本研究部会主催の合宿を開催し、48名の参加者による活発な交流が行われた。	京 都 大 学
価値の創造とOR	奥 原 浩 之 (大阪大学) 春 名 亮 (金沢学院大学)	21 名	5 回	今年度はサービス、情報技術、イノベーションなどにおける問題解決法の創意工夫を各分野の研究者に講演をしていただき、他領域からの参加者との議論を通じて、価値の創造という観点から横断的かつ体系的に捉えた。	大 阪 大 学

部 会 名	主 幹 査 事	メ ン バ -	開 催	内 容	場 所
サプライチェーンストラテジー	高 井 英 造 (フレームワークス) 草 刈 君 子	26 名	8 回	サプライチェーンにおける経営戦略、戦略的ビジネスプロセス、グローバルSCM、OR手法の適用等について、事例と理論の両面から研究する。 http://scs.blog.so-net.ne.jp/ を参照	青山学院大学
食料・農業・環境とOR	南 石 晃 明 (九州大学) 佐 藤 正 衛 (農業・食品産業技術総合研究機構)	22 名	6 回	食料・農業・環境問題について産官学民各分野の方々と情報交換した。それらの問題解決に向けたORアプローチの取り組みの現状と有効性、今後の課題について理論と応用の両側面から議論を深めた。	農 研 機 構
マーケティング情報	生 田 目 崇 (専修大学) 朝 日 弓 未 (東京理科大学)	30 名	6 回	市場の実データ(百貨店のPOSデータ)に関する分析を通して、マーケティング戦略上の有効な情報を抽出する方法論について議論した。データ解析コンペティション全20チームの参加を得て今年度も開催した。	東京理科大学
画期における最適化	伊 藤 大 雄 (京都大学) 巳 波 弘 佳 (関西学院大学)	22 名	5 回	転換期にある最適アルゴリズム分野の研究を促進するため、5回の研究会で、国内外で活躍する研究者に最新のピッチを報告してもらい、毎回20~40名の参加者を交えて活発な議論を行った。	京 都 大 学
ゲーム理論と市場設計	渡 辺 隆 裕 (首都大学東京) 福 田 恵 美 子 (防衛大学校)	50 名	9 回	本年度は制度設計の話題を中心に経済学、理工学の各分野から合計11件の報告があった。メカニズムデザインの発展性について、幅広い分野からの参加者による研究交流を行うことができた。	東京工業大学
計算と最適化の新展開	藤 澤 克 樹 (中央大学) 後 藤 順 哉 (中央大学)	17 名	6 回	毎回2名(第4回のみ1名)の講演者を招き、計算及び最適化に関する研究発表を行った。5月末に2日間に亘る合宿形式の研究会を行い、4件の特別講演と21件の一般発表を行い、優れた発表8件を表彰した。	中 央 大 学
サービスサイエンス	木 下 栄 蔵 (名城大学) 日 高 一 義 (北陸先端科学技術大学院大学)	16 名	4 回	サービスにおける、数理的側面の基礎・応用研究を行い、これを広く社会に普及させることを通じて、サービスの創出に貢献することを目指して研究・発表を行った。	名 城 大 学
実践的データマイニング	羽 室 行 信 (関西学院大学) 森 田 裕 之 (大阪府立大学)	9 名	3 回	本研究部会では、実際のある動画視聴履歴データを用いて、アルゴリズムの精度と、ビジネスモデルのアイデアを競うコンテストを実施し、それぞれの内容を研鑽する研究の場を提供した	関 西 学 院 大 学

部 会 名	主 査 事	メ ン バ -	開 催	内 容	場 所
数理モデルとその応用	桑 野 裕 昭 (金沢学院大学) 杉 原 一 臣 (福井工業大学)	13名	5回	数理モデルをキーワードとして、北陸地区において研究集会を開催し、計12件の研究報告があった。ORの周辺領域からも講演者を招き、理論から応用まで幅広いテーマについて議論し、研究交流を行った。	金沢学院大学
ソフトコンピューティングと最適化	加 藤 浩 介 (広島大学) 丹 羽 啓 一 (広島経済大学)	16名	5回	ソフトコンピューティング手法と最適化の融合分野の理論と応用、並びに実社会への応用問題について検討を行った。当学会の他研究部会と共催で研究会を実施し、研究者間の交流の活性化に努めた。	広島・大阪・福井
ファイナンス理論の展開	田 中 敬 一 (首都大学東京) 室 町 幸 雄 (首都大学東京)	12名	8回	本年は8回の研究会(内2回は海外研究者の講演)を開催した。非完備市場、信用リスク、リスク尺度、ベイズ統計学、リアルオプション、リアルオプション解析など多岐にわたる内容について、活発な議論が展開された。	秋葉原ダイピル
不確実性下の意思決定モデリング	大 西 匡 光 (大阪大学) 西 原 理 (大阪大学)	27名	6回	講演は計16件で、内容はファジィ、ゲーム、動的計画、在庫、金融工学マーケティング、待ち行列、シミュレーション等多岐に亘った。他の部会と共催の研究会も開催し、関連分野の人的交流、研究情報の交換に一定の貢献をしたものと考える。	関西学院大学
*政治と社会と行政のOR	大 山 達 雄 (政策研究大学院大学) 田 中 健 一 (電気通信大学)	30名	7回	毎回2名の講師を招き、公共諸部門や社会システム全般における問題解決、意思決定、政策の策定と評価等、ORの理論と手法の幅広い応用研究に関する発表を行っていただき、参加者間で積極的な議論を行った。	政策研究大学院大学
*都市のOR	腰 塚 武 志 (南山大学) 大 澤 義 明 (筑波大学)	30名	2回	サマセナーを8月18日筑波大学で開催し13件の発表と41名の参加者があった。ウィンターセナーを12月19・20日南山大学及び名古屋ガーデンパレスで開催し26件の発表と68名の参加者があった。	筑波大学
*不確実環境下での柔構造最適化モデリング	岩 村 覚 三 (城西大学) 堀 口 正 之 (神奈川大学)	12名	4回	本研究グループは確率論モデルとファジィ(非確率論)モデルに大別される。部会員間はBellman Spiritにあふれており、緊密な共同研究が遂行できるので、今後は研究内容を絞って全員で集中研究したほうが良いと感じるときがある。	神奈川大学

10. 表彰(定款第5条5号)

(1) 日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞

第38回文献賞の選考を行い、以下のとおり決定した。

- ・ Arc-disjoint in trees in directed graphs

Combinatorica, Vol.29, No.2

神山直之(中央大学)

(2) 日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞奨励賞

第5回文献賞奨励賞の選考を行い、以下のとおり決定した。

- ・ Solving the irregular strip packing problem via guided local search for overlap minimization

International Transactions in Operational Research, Vol.116, No.6

梅谷俊治(大阪大学)

- ・ Finding probably best systems quickly via simulations

ACM Transactions on Modeling and Computer Simulation, Vol.19, No.3

恐神貴行(日本アイ・ビー・エム(株))

- ・ Approximation algorithm and perfect sampler for closed Jackson networks with single servers

SIAM Journal on Computing, Vol.38, No.4

来嶋秀治(京都大学)

- ・ A weighted even factor algorithm

Mathematical Programming, 115

- ・ A weighted k_t -free t -factor algorithm for bipartite graphs

Mathematics of Operations Research, Vol.34, No.2

高澤兼二郎(東京大学)

- ・ Spectrum management for interference-limited multiuser communication systems

IEEE Transactions on Information Theory, Vol.55, No.3

林俊介(京都大学)

(3) 日本オペレーションズ・リサーチ学会普及賞

第35回普及賞の選考を行い、以下のとおり決定した。

- ・ 森清堯(元(財)電力中央研究所)

- ・ 山田郁夫(元(株)三菱総合研究所)

(4) 日本オペレーションズ・リサーチ学会実施賞

第34回実施賞の選考を行い、下記のとおり決定した。

株式会社 東芝

(5) 日本オペレーションズ・リサーチ学会事例研究賞

第30回事例研究賞の選考を行い、以下のとおり決定した。

- ・ 南山大学における入試監督者自動割当システムの作成

オペレーションズ・リサーチ, Vol.54, No.6

山本佳奈、鈴木敦夫(南山大学)

- ・ ロジットモデルを用いたリニア中央新幹線の需要予測

オペレーションズ・リサーチ, Vol.54, No.7

三浦英俊(明海大学)

(6) 日本オペレーションズ・リサーチ学会業績賞

第11回業績賞の選考を行い、以下のとおり決定した。

福島雅夫(京都大学)

(7) 日本オペレーションズ・リサーチ学会学生論文賞

第27回学生論文賞の選考を行い、以下のとおり決定し、授賞を行った。

- ・外平面的化学グラフの立体異性体に対する構造表現および生成アルゴリズム
今田友樹(京都大学・卒業論文)
- ・A Regularized Newton Method without Line Search for Unconstrained Optimization
上田健詞(京都大学・修士論文)
- ・離散断面積を持つ構造物の最適設計
勝見佑平(東京大学・卒業論文)
- ・Semidefinite programming reformulation for a class of robust optimization problems and its application to robust Nash equilibrium problems
西村亮一(京都大学・修士論文)
- ・代数的対称性による行列の同時ブロック対角化法
前原貴憲(東京大学・修士論文)
- ・巡回トーナメント問題の近似解法
山口大輔(中央大学・卒業論文)

11. 広報関連(定款第5条6号)

(1) WEBサイト

利用者の利便性をさらに良くするために、学会ホームページの全面的な改定を行った。

(2) メールマガジンの発行

平成21年6月より月2回のメールマガジンの発行を開始し、学会関連情報のタイムリーな提供と学会員への情報発信を多様化した。

(3) アーカイブ

創立50周年を記念してWEBサイトに公開したアーカイブ集の、機関誌「オペレーションズ・リサーチ」、英文論文誌「Journal of the Operations Research Society of Japan」、和文論文誌「Transactions of the Operations Research Society of Japan」を創刊号にさかのぼり掲示した。

(4) OR事典Wiki

学術の今日的な状況に応じて学会が提供する事典としての利用価値の維持向上のために、創立50周年を記念してWEBサイトに公開されたOR事典Wikiの編集・追補を開始した。

12. 支部活動（定款第5条6項）
支部ごとに次のとおり活動した。

支 部 活 動 報 告

	北海道	東北	中部	関西	中国四国	九州
運営会議	支部総会 1回 運営委員会 2回	支部総会 1回 運営委員会 1回	支部総会 1回 運営委員会 1回 幹事会 6回	支部総会 1回 運営委員会 2回	支部総会 1回 運営委員会 2回	支部総会 1回 運営委員会・幹事会 2回
研究会		研究会 1回	支部研究発表会 1回 支部研究会 1回	産学研究者交流会 1回	1研究部会	研究会 2回
講演会	講演会 2回	講演会 1回	支部講演会 1回	講演会 2回	講演会 4回	講演会 3回
講習会	チュートリアルセミナー 1回					
出版			支部ニュース 8回 アブストラクト集 1回 シンポジウム講演資料集 1回	OR誌54巻5号特集担当 OR誌55巻5号特集企画		
その他		日韓ORワークショップ	支部シンポジウム 1回 ワークショップ 1回 他学会協賛 1回 ORコラム(Webコンテンツ) 15回	支部ホームページの運営	支部定例シンポジウム1回 ソフトウェアマネジメント国際シンポジウム2009	第62回シンポジウム 第24回企業事例交流会 平成21年秋季研究発表会

処務の概要

1. 役員に関する事項

理事 非常勤 監事 非常勤
 定数：12人から18人 (現在：18人) 定数：2人 (現在：2人)
 任期：2年 任期：2年

平成21年度末現在

理事・監事の役職	氏名	常勤非常勤の別	就任年月日	担当職務	報酬	現職
理事(会長)	伏見正則	非常勤	20.4.21	会務の総理	なし	南山大学教授
"(副会長)	田口東	"	"	"	"	中央大学教授
"(")	武藤滋夫	"	21.4.20	"	"	東京工業大学教授
"(")	山下勝比拵	"	"	"	"	(株)東芝理事
"(庶務)	相澤りえ子	"	20.4.21	庶務	"	(株)構造計画研究所技術 担当部長
"(")	渡辺隆裕	"	21.4.20	"	"	首都大学東京教授
"(会計)	佐賀井重雄	"	20.4.21	会計	"	(財)電力中央研究所上席 研究員
"(研究普及)	伊倉義郎	"	"	研究普及	"	(株)サイテック・ジャパン 代表取締役
"(")	大澤義明	"	21.4.20	"	"	筑波大学教授
"(編集)	藤重悟	"	20.4.21	論文誌編集	"	京都大学教授
"(")	牧本直樹	"	21.4.20	機関誌編集	"	筑波大学教授
"(国際)	村松正和	"	"	国際	"	電気通信大学教授
"(涉外)	上田徹	"	20.4.21	涉外	"	成蹊大学教授
"(広報)	八巻直一	"	"	広報	"	静岡大学教授
"(支部)	加藤直樹	"	21.4.20	支部	"	京都大学教授
"(無任所)	大屋隆生	"	20.4.21	無任所	"	国士舘大学教授
"(")	塩田光重	"	"	"	"	早稲田大学客員教授
"(")	古藤浩	"	21.4.20	"	"	東北芸術工科大学准教 授
監事	山下浩	"	20.4.21	定款19条	"	(株)数理システム代表取 締役社長
"	紀一誠	"	21.4.20	"	"	神奈川大学教授

2. 職員に関する事項

平成 21 年度末現在

職名	常勤・非常勤	氏名	採用年月日	担当事務	備考
事務局長	常勤	丸山 武	2007.7.1	総括・渉外・会計	
職員	"	嶋原 真澄	1990.5.8	庶務・編集	
"	"	棟安 美恵	1998.10.1	会員管理・研究普及	

3. 会議に関する事項

(1) 臨時総会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
21.2.23	1. 平成 21 年度事業計画の件 2. 平成 21 年度収支予算の件 3. 名誉会員推薦の件	承認 " "

(2) 通常総会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
21.4.20	1. 平成 20 年度事業報告の件 2. 平成 20 年度収支計算報告および監査報告の件 3. 平成 21 年度 22 年度役員承認の件	承認 " "

(3) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
21.5.22	1. 平成 20 年度第 7 回理事会議事録の件 2. 平成 21 年度通常総会議事録の件 3. 入退会承認の件 4. 平成 21 年度委員会委員・幹事委嘱の件 5. 会長候補者選考委員選挙の件 6. 平成 21 年春季研究発表会終了及び決算報告の件 7. 第 61 回シンポジウム収支決算の件 8. 平成 21 年秋季研究発表会予算案の件 9. 第 62 回シンポジウム予算案の件 10. 特定資産積立金規定改定の件 11. 移行先公益法人類型の件 12. 支部決算報告の件 13. JORSJ 電子化による会費取扱の件 14. 平成 21 年度支部運営費・事業費の件 15. 対外委員活動の件	承認 " " " " " " " " " " " " " " " 報告 " "
21.7.24	1. OR 事典新規執筆項目学会誌への掲載並びに Wiki への転載の件 2. 平成 21 年度第 1 回理事会議事録の件 3. 入退会の件 4. 平成 21 年度委員会委員・幹事委嘱追加の件 5. 第 1 四半期収支報告の件 6. 第 27 回学生論文賞候補の件 7. 表彰規定改定の件 8. 会長候補選考委員会委員選挙の件	承認 " " " " " " " " " " "

開催年月日	議 事 事 項	結 果
22.2.15	1.平成21年度第5回理事会議事録の件 2.入退会承認の件 3.会友推薦候補者追加の件 4.学会賞授賞候補推薦の件 5.新フェロー推薦の件 6.平成21年度臨時総会議案の件 7.感謝状推薦の件 8.シニア会員制度の件 9.法人会員新設の件	承認 " " " " " " " " 報告
22.4.16	1.平成21年度第6回理事会議事録の件 2.平成21年度臨時総会議事録の件 3.春季支部長会議議事録の件 4.入退会承認の件 5.定款細則改定の件 6.特定資産取崩の件 7.平成22年度通常総会議案の件 8.第64回シンポジウム予算案の件 9.平成23年春季研究発表会日程の件 10.平成21年度第2回ORセミナー収支報告の件 11.支部決算報告の件 12.FMESシンポジウムの件 13.待ち行列研究部会表彰規定改定の件	承認 " " " " " " " " " " " 報告 "

(4) 支部長会議

支部長会議は3月(つくば)と9月(長崎)の2回開催し、OR学会の諸問題について意見を交換し、本部と支部の意見調整を図った。

(5) 委員会・幹事会

・常設委員会

委 員 会 名	議 事 事 項	回 数
研究普及委員会	研究発表会等の企画・開催、他	6回
機関誌編集委員会	企画の進捗状況確認並びに新企画の提案、他	6回
論文誌編集委員会	投稿論文査読状況の確認、他	1回
表彰委員会	学会賞の選考・表彰規定の改定、他	4回
広報委員会	学会Webの充実、広報課題の検討、他	7回
OR事典編集委員会	OR事典改訂方針・編集体制、他	5回

・その他の委員会・幹事会

委 員 会 名	議 事 事 項	回 数
庶務幹事会	理事会の議事についての予備審議、他	7回
業績賞選考委員会	業績賞の選考	1回
会長候補者選考委員会	会長候補者の選考	2回
公益法人化等問題検討委員会	新公益法人制度移行に関する問題の検討、他	8回
フェロー会議	新フェローの選考	1回
研究部会主査会議	研究部会経過報告	1回

4. 許可・認可・承認・証明に関する事項

該当なし

5. 契約に関する事項

該当なし

6. 寄付金に関する事項

近藤賞基金に6口30,000円の寄付があった。

7. 主務官庁からの連絡事項等

連絡年月日	連絡事項	履行状況
平成21年3月2日	(作業依頼)各府省所管公益法人についての財務、特に内部留保の状況について	平成21年3月3日回答
平成21年3月3日	(依頼)事業計画書・事業報告書等の提出について	
平成21年3月3日	(調査依頼)供養塔等を所有する特例民法法人について	
平成21年3月3日	基金等の規定見直しについて	
平成21年3月26日	病原性微生物等の保管・管理の徹底及び保有状況等の調査の実施について	平成21年4月8日回答
平成21年4月20日	(作業依頼)自民党・無駄撲滅PTからの依頼(独法、公益法人チェックシートの作成依頼)	平成21年4月21日回答
平成21年5月1日	(依頼)文科省所管公益法人が主催する大規模な集会等について	
平成21年5月13日	(依頼)平成22年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞及び若手研究者賞受賞候補者の推薦について	
平成21年6月15日	(予備的調査依頼)公益法人、独立行政法人等の保有する積立金等に関する予備的調査について	平成21年6月16日回答
平成21年8月19日	(事務連絡)法人の運営について	
平成21年8月21日	(照会)第51回(平成21年度)「教育・文化週間」について	
平成21年9月24日	(照会)大臣交代に伴う兼職状況調査について	平成21年9月25日回答
平成21年10月7日	(ご案内)第4回国家基幹技術「海洋地球観測探査システム」フォーラムの開催	
平成21年10月7日	(照会)平成20年度における国からの受託費について	平成21年10月8日回答
平成21年10月29日	(照会)平成20年度に独立行政法人からの補助金等の交付により設置造成された基金について	平成21年10月29日回答
平成21年12月7日	(依頼)平成21年度特例民法法人概況調査	平成21年12月16日回答
平成21年12月7日	(周知)政府関連公益法人の徹底的な見直しについて	
平成22年1月	科学技術週間ポスターの送付について	

連絡年月日	連絡事項	履行状況
平成 22 年 1 月 12 日	(作業依頼)政府関連公益法人の徹底的な見直しについて	平成 22 年 1 月 13 日回答
平成 22 年 1 月 22 日	(依頼)平成 22 年度(第 51 回)科学技術週間について	
平成 22 年 2 月 11 日	公益事業基金規定等について	平成 22 年 2 月 11 日回答
平成 22 年 2 月 22 日	(作業依頼)政府関連公益法人に関する基礎的調査について	平成 22 年 2 月 25 日回答

8 . 会 員 状 況

(1) 入 退 会 内 訳

		名 誉 会 員	正 会 員	学 生 会 員	賛 助 会 員		合 計	
					A 種	B 種		
平成21年2月末日		12	1,972	182	51(59)	22(22)	2,239(81)	
平成 21 年 度	入 会		78	59			137	
	移 動	学 正		30	30			
		正 学						
		正 名	1	1				
	退 会	1	102	18	11(11)	2(2)	134(13)	
	除 名		24	20		1(1)	45(1)	
	復 活		2				2	
純 増 減		0	17	9	11(11)	3(3)	40(14)	
平成22年2月末日		12	1,955	173	40(48)	19(19)	2,199(67)	

() は口数

(2) 地 域 別 内 訳

	名 誉 会 員	正 会 員	学 生 会 員	賛 助 会 員	
				A 種	B 種
本 部	8	1,160	120	26(34)	18(18)
北 海 道		57	2	2(2)	
東 北	1	67	3	1(1)	
中 部		178	15	4(4)	
関 西	3	274	27	5(5)	1(1)
中国・四国		124	2	1(1)	
九 州		95	4	1(1)	
合 計	12	1,955	173	40(48)	19(19)

() は口数

収 支 計 算 書

平成21年3月1日から平成22年2月28日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入				
基本財産運用利息	14,000	32,016	18,016	
基本財産運用収入計	14,000	32,016	18,016	
入会金収入				
正会員入会金収入	45,000	117,000	72,000	
学生会員入会金収入	36,000	35,400	600	
入会金収入計	81,000	152,400	71,400	
会費収入				
正会員会費収入	28,200,000	28,286,350	86,350	
学生会員会費収入	1,000,000	1,080,000	80,000	
賛助会員会費収入	7,375,000	6,233,000	1,142,000	
会費収入計	36,575,000	35,599,350	975,650	
事業収入				
会誌頒布収入	4,500,000	3,821,791	678,209	
機関誌	3,200,000	2,705,181	494,819	
論文誌	1,300,000	1,116,610	183,390	
研究発表会収入	5,000,000	5,564,000	564,000	
シンポジウム収入	300,000	171,000	129,000	
セミナー収入	1,100,000	1,115,000	15,000	
資料等頒布収入	200,000	225,000	25,000	
IAOR収入	315,000	336,000	21,000	
EJOR収入	480,000	480,000	0	
APJOR収入	231,000	242,000	11,000	
ORサロン収入	0	43,000	43,000	
受託研究収入	1,000,000	1,000,000	0	
事業収入計	13,126,000	12,997,791	128,209	
その他収入				
論文投稿掲載料収入	1,125,000	1,877,000	752,000	
広告収入	4,400,000	3,498,000	902,000	
名簿収入	0	5,000	5,000	

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
事務委託収入	150,000	150,000	0	
その他収入計	5,675,000	5,530,000	145,000	
寄付金収入				
寄付金収入	0	30,000	30,000	
寄付金収入計	0	30,000	30,000	
雑収入				
受取利息収入	250,000	228,701	21,299	
雑収入	200,000	364,735	164,735	
雑収入計	450,000	593,436	143,436	
事業活動収入計	55,921,000	54,934,993	986,007	
2. 事業活動支出				
事業費支出				
給料手当支出	7,944,000	7,953,489	9,489	
臨時雇賃金支出	1,400,000	1,218,500	181,500	
旅費交通費支出	512,000	470,840	41,160	
通信運搬費支出	5,025,000	4,718,806	306,194	
消耗品費支出	400,000	289,786	110,214	
会議費支出	165,000	189,503	24,503	
印刷製本費支出	10,800,000	11,539,009	739,009	
機関誌	8,700,000	9,327,772	627,772	
論文誌	2,000,000	2,211,237	211,237	
印刷費	100,000	0	100,000	
研究発表会支出	5,000,000	4,540,274	459,726	
開催費	3,620,000	3,575,939	44,061	
印刷費	1,380,000	964,335	415,665	
国際協力費支出	1,458,000	985,792	472,208	
IFORS会費	370,000	290,742	79,258	
IAOR購入費	305,000	167,048	137,952	
EJOR購入費	478,000	363,200	114,800	
APJOR購入費	205,000	164,802	40,198	
APORS関係費	100,000	0	100,000	
研究活動費支出	1,760,000	1,449,357	310,643	
シンポジウム開催費	300,000	186,623	113,377	
セミナー開催費	860,000	683,197	176,803	
ORサロン	600,000	579,537	20,463	
研究部会費支出	1,035,000	927,862	107,138	

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
支部運営費支出	1,589,100	1,445,388	143,712	
支部事業費支出	610,000	558,017	51,983	
表彰事業費支出	548,000	539,600	8,400	
近藤賞関係支出	1,050,000	1,000,000	50,000	
諸謝金支出	1,300,000	1,006,000	294,000	
受託研究費支出	1,000,000	1,000,000	0	
FMES関係費支出	500,000	450,934	49,066	
名簿作成費支出	0	5,840	5,840	
広報活動費支出	3,000,000	3,301,712	301,712	
雑費支出	1,050,000	0	1,050,000	注 1
事業費支出計	46,146,100	43,590,709	2,555,391	
管理費支出				
給料手当支出	7,944,000	7,953,488	9,488	
福利厚生費支出	2,236,000	2,258,710	22,710	
会議費支出	290,000	112,676	177,324	
旅費交通費支出	1,791,000	1,618,350	172,650	
通信費支出	695,000	711,239	16,239	
事務用消耗品費支出	50,000	75,797	25,797	
消耗品費支出	200,000	81,018	118,982	
修繕費支出	50,000	57,750	7,750	
印刷費支出	160,000	255,681	95,681	
家賃支出	3,750,384	3,750,384	0	
共益費支出	1,625,400	1,625,400	0	
保険料	10,000	10,000	0	
支払手数料支出	250,000	188,014	61,986	
租税公課支出	70,000	319,600	249,600	注 2
負担金支出	10,000	3,500	6,500	
リース料支出	392,000	391,104	896	
OA化準備費支出	500,000	0	500,000	注 3
未払消費税	300,000	0	300,000	注 2
損金支出	700,000	628,200	71,800	
雑費支出	800,000	46,211	753,789	注 4
管理費支出計	21,823,784	20,087,122	1,736,662	
事業活動支出計	67,969,884	63,677,831	4,292,053	
事業活動収支差額	12,048,884	8,742,838	3,306,046	

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
.投資活動収支の部				
1.投資活動収入				
特定資産取崩収入				
財政調整積立金資産取崩収入	0	9,253,225	9,253,225	注5
表彰事業積立金資産取崩収入	100,000	100,000	0	
近藤賞基金引当資産取崩収入	1,050,000	1,000,000	50,000	
特定資産取崩収入計	1,150,000	10,353,225	9,203,225	
投資活動収入計	1,150,000	10,353,225	9,203,225	
2.投資活動支出				
特定資産支出				
退職給付引当資産支出	1,797,000	1,883,000	86,000	
近藤賞基金引当資産支出	0	64,180	64,180	
特定資産支出計	1,797,000	1,947,180	150,180	
投資活動支出計	1,797,000	1,947,180	150,180	
投資活動収支差額	647,000	8,406,045	9,053,045	
当期収支差額	12,695,884	336,793	12,359,091	
前期繰越収支差額	10,983,024	12,279,199	1,296,175	
次期繰越収支差額	1,712,860	11,942,406	13,655,266	

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲には、現金預金、未収金、未収会費、前払金、仮払金、未払金、前受金、前受会費、預り金及び仮受金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現 金	475,551	53,859
預 金（振替貯金を含む）	38,081,186	35,063,613
未 収 会 費	1,248,120	1,224,700
そ の 他 の 未 収 金	187,089	262,055
前 払 金	85,284	92,004
仮 払 金 他	0	1,500,000
合 計	40,077,230	38,196,231
未 払 金	2,315,205	2,024,653
前 受 会 費	22,692,432	21,633,072
そ の 他 の 前 受 金	2,395,351	2,203,662
預 り 金	395,043	392,438
合 計	27,798,031	26,253,825
次 期 繰 越 収 支 差 額	12,279,199	11,942,406

3 予算額と決算額の差異が著しい科目とその理由

注1 公益法人化に備え外部コンサルタント費用を計上したが、内製化することにして支出を取り止めた。

注2 未払消費税は、租税公課に含めている。その金額は249千円である。

注3 OA化準備費支出は、来年度以降に実施することとし延期した。

注4 公益法人化に伴う税務顧問等の採用は、見直しを行い本年度は契約にいたらなかった。

注5 財政調整積立金資産は、これを見直し全額流動資産へ振替た。

貸借対照表

平成22年2月28日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	35,117,472	38,556,737	3,439,265
現金	53,859	475,551	421,692
振替貯金	507,398	4,374,895	3,867,497
当座預金	25,586	25,586	0
普通預金	24,778,073	33,181,374	8,403,301
定期預金	9,752,556	499,331	9,253,225
未収金	1,486,755	1,435,209	51,546
未収会費	1,224,700	1,248,120	23,420
その他の未収金	262,055	187,089	74,966
前払金	92,004	85,284	6,720
仮払金他	1,500,000	0	1,500,000
流動資産合計	38,196,231	40,077,230	1,880,999
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産定期預金	5,000,000	5,000,000	0
基本財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給与引当資産	10,126,000	8,243,000	1,883,000
敷金等移転準備積立金資産	3,621,640	3,621,640	0
名簿作成準備積立金資産	400,000	400,000	0
国際協力積立金資産	7,119,890	7,119,890	0
記念事業積立金資産	11,143,931	11,143,931	0
表彰事業積立金資産	4,500,000	4,600,000	100,000
OA化積立金資産	8,380,000	8,380,000	0
OR事典積立金資産	1,800,000	1,800,000	0
財政調整積立金資産	0	9,253,225	9,253,225
特別研究積立金資産	5,000,000	5,000,000	0
近藤賞基金引当金資産	13,089,697	14,025,517	935,820
特定資産合計	65,181,158	73,587,203	8,406,045

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
(3) その他固定資産			
什器備品	61,190	116,985	55,795
ソフトウェア	128,187	198,107	69,920
敷金・保証金	1,596,000	1,596,000	0
その他固定資産合計	1,785,377	1,911,092	125,715
固定資産合計	71,966,535	80,498,295	8,531,760
資産合計	110,162,766	120,575,525	10,412,759
.負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,024,653	2,315,205	290,552
前受金	23,836,734	25,087,783	1,251,049
前受会費	21,633,072	22,692,432	1,059,360
その他の前受金	2,203,662	2,395,351	191,689
預り金	392,438	395,043	2,605
流動負債合計	26,253,825	27,798,031	1,544,206
2. 固定負債			
退職給与引当金	10,126,000	8,243,000	1,883,000
固定負債合計	10,126,000	8,243,000	1,883,000
負債合計	36,379,825	36,041,031	338,794
.正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	0
2. 一般正味財産	68,782,941	79,534,494	10,751,553
(うち特定資産への充当額)	(65,181,158)	(73,587,203)	8,406,045
正味財産合計	73,782,941	84,534,494	10,751,553
負債及び正味財産合計	110,162,766	120,575,525	10,412,759

正味財産増減計算書

平成21年3月1日から平成22年2月28日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
・一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収益			
基本財産受取利息	32,016	14,038	17,978
受取入会金			
正会員入会金	117,000	54,000	63,000
学生会員入会金	35,400	32,400	3,000
受取会費			
正会員会費	28,286,350	28,902,400	616,050
学生会員会費	1,080,000	1,135,820	55,820
賛助会員会費	6,233,000	7,756,000	1,523,000
事業収益			
会誌頒布収益	3,821,791	4,138,691	316,900
研究発表会収益	5,564,000	5,078,000	486,000
シンポジウム収益	171,000	220,000	49,000
セミナー収益	1,115,000	1,280,000	165,000
資料等頒布収益	225,000	113,000	112,000
IAOR収益	336,000	330,000	6,000
EJOR収益	480,000	464,000	16,000
APJOR収益	242,000	210,000	32,000
受託研究費収益	1,000,000	1,000,000	0
ORサロン収益	43,000	0	43,000
その他収益			
論文投稿掲載料	1,877,000	1,753,640	123,360
広告料	3,498,000	3,972,000	474,000
事務委託収益	150,000	150,000	0
名簿収益	5,000	0	5,000
受取寄付金			
受取一般寄付金	30,000	5,000	25,000
雑収益			
受取利息	228,701	291,953	63,252
雑収益	364,735	260,006	104,729
経常収益計	54,934,993	57,160,948	2,225,955

科	目	当年度	前年度	増減
(1) 経常費用				
	事業費			
	給料手当	7,953,489	7,901,833	51,656
	臨時雇賃金	1,218,500	1,292,000	73,500
	旅費交通費	470,840	612,150	141,310
	通信運搬費	4,718,806	4,813,813	95,007
	減価償却費	125,715	125,715	0
	消耗品費	289,786	294,344	4,558
	会議費	189,503	146,948	42,555
	印刷製本費	11,539,009	10,056,543	1,482,466
	研究発表会	4,540,274	3,922,080	618,194
	IFORS会費	290,742	290,742	0
	IAOR購入費	167,048	195,355	28,307
	EJOR購入費	363,200	454,100	90,900
	APJOR購入費	164,802	165,873	1,071
	APORS関係費	0	0	0
	シンポジウム開催費	186,623	264,293	77,670
	セミナー開催費	683,197	660,330	22,867
	ORサロン	579,537	0	579,537
	研究部会費	927,862	906,446	21,416
	支部運営費	1,445,388	1,492,198	46,810
	支部事業費	558,017	591,904	33,887
	表彰事業費	539,600	556,464	16,864
	諸謝金	1,006,000	956,500	49,500
	名簿作成費	5,840	342,411	336,571
	受託研究費	1,000,000	1,000,000	0
	FMES関係費	450,934	459,853	8,919
	広報活動費	3,301,712	0	3,301,712
	近藤賞関係費	1,000,000	0	1,000,000
	管理費			
	給料手当	7,953,488	7,901,832	51,656
	退職給付	0	0	0
	福利厚生費	2,258,710	2,216,407	42,303
	会議費	112,676	199,185	86,509
	旅費交通費	1,618,350	1,232,540	385,810
	通信費	711,239	467,786	243,453
	事務用消耗品費	75,797	45,605	30,192
	消耗品費	81,018	136,383	55,365
	修繕費	57,750	0	57,750
	印刷費	255,681	173,880	81,801
	家賃	3,750,384	3,750,384	0

科	目	当 年 度	前 年 度	増 減
	共益費	1,625,400	1,625,400	0
	保険料	10,000	10,000	0
	支払手数料	188,014	207,285	19,271
	租税公課	319,600	317,600	2,000
	負担金	3,500	3,500	0
	リース料	391,104	391,104	0
	OA化準備費	0	0	0
	損金	628,200	598,630	29,570
	雑費	46,211	68,961	22,750
	引当金繰入			
	退職給与引当金繰入	1,883,000	1,136,000	747,000
	経常費用計	65,686,546	57,984,377	7,702,169
	当期経常増減額	10,751,553	823,429	9,928,124
	当期一般正味財産増減額	10,751,553	823,429	9,928,124
	一般正味財産期首残高	79,534,494	80,357,923	823,429
	一般正味財産期末残高	68,782,941	79,534,494	10,751,553
	.指定正味財産増減の部			
	指定正味財産期首残高	5,000,000	5,000,000	0
	指定正味財産期末残高	5,000,000	5,000,000	0
	.正味財産期末残高	73,782,941	84,534,494	10,751,553

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産及び無形固定資産は定額法を採用しています。

(2) 引当金の計上基準

退職給与引当金

職員の退職給付に備えるため、期末要支給額（自己都合ベース）で計上しています。

(3) リース取引の処理方法

所有権の移転しないファイナンスリースであり、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

(4) 消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2 会計方針の変更

平成19年度から新会計基準へ変更している。

3 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産定期預金	5,000,000	0	0	5,000,000
小 計	5,000,000	0	0	5,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	8,243,000	1,883,000	0	10,126,000
敷金等移転準備積立金資産	3,621,640	0	0	3,621,640
名簿作成準備積立金資産	400,000	0	0	400,000
国際協力積立金資産	7,119,890	0	0	7,119,890
記念事業積立金資産	11,143,931	0	0	11,143,931
表彰事業積立金資産	4,600,000	0	100,000	4,500,000
OA化積立金資産	8,380,000	0	0	8,380,000
OR事典積立金資産	1,800,000	0	0	1,800,000
財政調整積立金資産	9,253,225	0	9,253,225	0
特別研究積立金資産	5,000,000	0	0	5,000,000
近藤賞基金引当金資産	14,025,517	64,180	1,000,000	13,089,697
小 計	73,587,203	1,947,180	10,353,225	65,181,158
合 計	78,587,203	1,947,180	10,353,225	70,181,158

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
基本財産定期預金	5,000,000	(5,000,000)	0	0
小 計	5,000,000	(5,000,000)	0	
特定資産				
退職給付引当資産	10,126,000	0	(10,126,000)	(10,126,000)
敷金等移転準備積立金資産	3,621,640	0	(3,621,640)	0
名簿作成準備積立金資産	400,000	0	(400,000)	0
国際協力積立金資産	7,119,890	0	(7,119,890)	0
記念事業積立金資産	11,143,931	0	(11,143,931)	0
表彰事業積立金資産	4,500,000	0	(4,500,000)	0
OA化積立金資産	8,380,000	0	(8,380,000)	0
OR事典積立金資産	1,800,000	0	(1,800,000)	0
特別研究積立金資産	5,000,000	0	(5,000,000)	0
近藤賞基金引当金資産	13,089,697	0	(13,089,697)	0
小 計	65,181,158	0	(65,181,158)	(10,126,000)
合 計	70,181,158	(5,000,000)	(65,181,158)	(10,126,000)

5 担保に供している資産はありません。

6 固定資産の取得額、減価償却累計額及び当期末残高

科 目	取得額	減価償却累計額	当期末残高
(有形固定資産)			
什器備品	273,180	211,990	61,190
(無形固定資産)			
ソフトウェア	349,600	221,413	128,187
合 計	622,780	433,403	189,377

7 受保証・保証債務はありません。

8 関連当事者との取引について、該当事項はありません。

財 産 目 録

平成22年 2月28日現在

(単位：円)

科 目	金	額
.資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
現金手許保有高	53,859	
振替貯金		
東京振替貯金	404,588	
根津振替貯金	102,810	
当座預金		
みずほ銀行 根津支店	25,586	
普通預金		
みずほ銀行 根津支店	19,219,960	
三井住友銀行 白山支店	1,889,107	
三菱東京UFJ銀行 千駄木支店	3,668,863	
みずほ銀行 根津支店 2	143	
定期預金		
みずほ銀行 根津支店	4,253,225	
三菱東京UFJ銀行 千駄木支店	5,499,331	
未収金		
21年度会費他	1,486,755	
前払金		
機関誌抜刷代他	92,004	
仮払金		
研究発表会開催費	1,500,000	
流動資産合計		38,196,231
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
定期預金 みずほ銀行 根津支店	5,000,000	
基本財産合計	5,000,000	
(2) 特定資産		
退職給与引当資産 定期預金		
みずほ銀行 根津支店	10,126,000	
敷金等移転準備積立金資産 定期預金		
三菱東京UFJ銀行 千駄木支店	3,621,640	
名簿作成準備積立金資産 定期預金		
三菱東京UFJ銀行 千駄木支店	400,000	
国際協力積立金資産 定期預金		
三菱東京UFJ銀行 千駄木支店	7,119,890	
記念事業積立金資産 定期預金		
三菱東京UFJ銀行 千駄木支店	11,143,931	

科 目		金 額	
表彰事業積立金資産	定期預金		
みずほ銀行	根津支店	4,500,000	
OA化積立金資産	定期預金		
三井住友銀行	白山支店	8,380,000	
OR事典積立金資産	定期預金		
三菱東京UFJ銀行	千駄木支店	1,800,000	
特別研究積立金資産	定期預金		
みずほ銀行	根津支店	5,000,000	
近藤賞基金引当金資産	定期預金		
みずほ銀行	根津支店	13,089,697	
特定資産合計		65,181,158	
(3) その他固定資産			
有形固定資産	什器備品	61,190	
無形固定資産	ソフトウェア	128,187	
その他の固定資産	敷金・保証金	1,596,000	
その他固定資産合計		1,785,377	
固定資産合計			71,966,535
資産合計			110,162,766
.負債の部			
1. 流動負債			
未払金	OR誌2月号印刷代他	2,024,653	
前受金	22年度会費他	23,836,734	
預り金	職員社会保険料他	392,438	
流動負債合計			26,253,825
2. 固定負債			
退職給与引当金		10,126,000	
固定負債合計			10,126,000
負債合計			36,379,825
正味財産			73,782,941

第 3 号 議 案

定 款 細 則 改 定 の 件

1. 「正会員 B 種」の新設について

「会員制度」の会費規定に正会員 A 種と B 種の入会金および会費の項を追加し、第 2 条にグループの資格について追加する。

第 1 条 会員として入会を承認したときは、本会からその旨を通知する。新入会の会員は入会の期日にかかわらずその年の会費全額を納入する。

2 正会員、学生会員の入会金は次の通りとする。

正会員 1,500 円

学生会員 600 円

3 会員の会費年額は定款第 6 条の種別により次の通りとする。

正会員 14,400 円

学生会員 5,000 円

賛助会員 1 □ A 種 95,000 円

1 □ B 種 48,000 円

第 2 条 賛助会員は代表者を定め本会に通知する。賛助会員の名称・代表者の変更も同様である。

2 賛助会員（B 種）は次に掲げるものとする。該当しない賛助会員は A 種とする。

1. 個人

2. 資本金 3 億円以下および従業員 200 人以下の法人

3. 特に理事会が上記 2 に準ずると認めた法人または団体

とあるのを

第 1 条 会員として入会を承認したときは、本会からその旨を通知する。新入会の会員は入会の期日にかかわらずその年の会費全額を納入する。

2 正会員 A 種とは、個人の資格で加入する正会員とする。

3 正会員 B 種とは、オペレーションズ・リサーチの研究または実施に関心を持つ団体を代表する個人とする。この個人が所属する団体をグループ会員と称する。

4 正会員、学生会員の入会金は次の通りとする。

正会員 A 種 1,500 円

B 種 1 □ 3,000 円

学生会員 600 円

5 会員の会費年額は定款第 6 条の種別により次の通りとする。

正会員 A 種 14,400 円

B 種 1 □ 30,000 円

学生会員 5,000 円

賛助会員 A 種 1 □ 95,000 円

B 種 1 □ 48,000 円

第2条 グループ会員は1口につき2名まで代表者を定め本会に通知する。グループ会員の名称・代表者の変更も同様である。

2 賛助会員は代表者を定め本会に通知する。賛助会員の名称・代表者の変更も同様である。

3 賛助会員（B種）は次に掲げるものとする。該当しない賛助会員はA種とする。

1．個人

2．資本金3億円以下および従業員200人以下の法人

3．特に理事会が上記2に準ずると認めた法人または団体

とする。

改定事由

近年賛助会員の減少率が著しい。対応策として、1．企業会員種別の選択肢の増加、2．企業人の正会員の部署変更による退会を減少させるため部署が会員になれる道を設ける、3．中小企業の入会を促進するために賛助会員B種よりも割安なグループ会員制度を設ける。

2．「永年会員制度」の改定

永年会員制度の条件を緩和するとともに名称を変更する。

第10条 正会員のうち、30年以上正会員を継続し、70才以上である者は永年会員とすることができる。

2 永年会員は申出にもとづき、理事会の承認により年会費を半額（7,200円）にすることができる。

とあるのを

第10条 正会員のうち、20年以上正会員を継続し、60才以上であり、定常収入を有しない者はシニア会員とすることができる。

2 シニア会員は申出にもとづき、理事会の承認により年会費を半額（7,200円）にすることができる。

とする。

改定事由

本学会においても近年急速な高齢化が進展しており、企業・大学等を引退して定常収入を失った会員を繋ぎとめる対策として本優遇制度（シニア会員制度）を設ける。

現行定款細則	定款細則改定案
<p>第1章 会員</p> <p>第1条 会員として入会を承認したときは、本会からその旨を通知する。新入会の会員は入会の期日にかかわらずその年の会費を全額納入する。</p> <p>2 正会員、学生会員の入会金は次の通りとする。</p> <p>正会員 1,500 円 学生会員 600 円</p> <p>3 会員の会費年額は定款第6条の種別により次の通りとする。</p> <p>正会員 14,400 円 学生会員 5,000 円 賛助会員 1口 A種 95,000 円 1口 B種 48,000 円</p> <p>第2条 賛助会員は代表者を定め本会に通知する。賛助会員の名称・代表者の変更も同様である。</p> <p>2 賛助会員（B種）は次に掲げるものとする。該当しない賛助会員はA種とする。</p> <p>1. 個人 2. 資本金3億円以下および従業員200人以下の法人 3. 特に理事会が上記2に準ずると認めた法人または団体</p>	<p>第1章 会員</p> <p>第1条 会員として入会を承認したときは、本会からその旨を通知する。新入会の会員は入会の期日にかかわらずその年の会費を全額納入する。</p> <p><u>2 正会員A種とは、個人の資格で加入する正会員とする。</u></p> <p><u>3 正会員B種とは、オペレーションズ・リサーチの研究または実施に関心を持つ団体を代表する個人とする。この個人が所属する団体をグループ会員と称する。</u></p> <p><u>4</u> 正会員、学生会員の入会金は次の通りとする。</p> <p>正会員 A種 1,500 円 B種 1口 3,000 円 学生会員 600 円</p> <p><u>5</u> 会員の会費年額は定款第6条の種別により次の通りとする。</p> <p>正会員 A種 14,400 円 B種 1口 30,000 円 学生会員 5,000 円 賛助会員 A種 1口 95,000 円 B種 1口 48,000 円</p> <p>第2条 <u>グループ会員は1口につき2名まで代表者を定め本会に通知する。グループ会員の名称・代表者の変更も同様である。</u></p> <p><u>2</u> 賛助会員は代表者を定め本会に通知する。賛助会員の名称・代表者の変更も同様である。</p> <p><u>3</u> 賛助会員（B種）は次に掲げるものとする。該当しない賛助会員はA種とする。</p> <p>1. 個人 2. 資本金3億円以下および従業員200人以下の法人 3. 特に理事会が上記2に準ずると認めた法人または団体</p>

現行定款細則	定款細則改定案
第3条 会員は配布規定に従い、会誌の配布を受ける。	第3条 会員は配布規定に従い、会誌の配布を受ける。
第4条 会誌は1月より12月までのあいだに発行したものを送付するものとする。	第4条 会誌は1月より12月までのあいだに発行したものを送付するものとする。
第5条 会員は定款第9条および第10条の権利のほか、次の権利を有する。 1. 本会の事業に関する通知を受け各種行事、研究発表会および講演会に参加する。 2. 本会が、収集、整備する図書、資料等を、所定の規則に従って利用する。 3. 所定の規則に従って研究発表し、本会の会誌に投稿する。	第5条 会員は定款第9条および第10条の権利のほか、次の権利を有する。 1. 本会の事業に関する通知を受け各種行事、研究発表会および講演会に参加する。 2. 本会が、収集、整備する図書、資料等を、所定の規則に従って利用する。 3. 所定の規則に従って研究発表し、本会の会誌に投稿する。
第6条 会費は前年の12月までに納入しなければならない。	第6条 会費は前年の12月までに納入しなければならない。
第7条 通信先が外国の者の入会金、会費とともに国内会員と同じとする。	第7条 通信先が外国の者の入会金、会費とともに国内会員と同じとする。
第8条 会費を6ヶ月以上滞納した場合は、会員資格を停止することができる。また、会費を1年以上滞納した場合は除名することができる。	第8条 会費を6ヶ月以上滞納した場合は、会員資格を停止することができる。また、会費を1年以上滞納した場合は除名することができる。
第9条 正会員および名誉会員のうち、オペレーションズ・リサーチの進歩に関し顕著な貢献をなした者をフェローとする。 2 フェローはフェロー会議の推薦に基づき、理事会において決定する。 3 フェローはフェロー会議を構成し議長は互選とする。 4 フェロー会議は理事会に対し、新フェローの推薦を行なう。	第9条 正会員および名誉会員のうち、オペレーションズ・リサーチの進歩に関し顕著な貢献をなした者をフェローとする。 2 フェローはフェロー会議の推薦に基づき、理事会において決定する。 3 フェローはフェロー会議を構成し議長は互選とする。 4 フェロー会議は理事会に対し、新フェローの推薦を行なう。
第10条 正会員のうち、30年以上正会員を継続し、70才以上である者は永年会員とすることができる。 2 永年会員は申出にもとづき、理事会の承認により会費を半額(7,200円)にすることができる。	第10条 正会員のうち、 <u>20年以上正会員を継続し、60才以上であり、定常収入を有しない者はシニア会員とすることができる。</u> 2 <u>シニア</u> 会員は申出にもとづき、理事会の承認により会費を半額(7,200円)にすることができる。

現行定款細則	定款細則改定案
<p>第9章 附則</p> <p>(1) 本細則は、昭和47年5月27日よりこれを実施する。</p> <p>(2) 本細則は、昭和48年9月11日一部改訂した。</p> <p>(3) 本細則は、昭和49年7月16日一部改訂した。</p> <p>(4) 本細則は、昭和50年11月6日一部改訂した。</p> <p>(5) 本細則は、昭和53年9月4日一部改訂した。</p> <p>(6) 本細則は、昭和58年11月18日一部改訂した。</p> <p>(7) 本細則は、昭和59年11月30日一部改訂した。</p> <p>(8) 本細則は、昭和62年8月3日一部改訂した。</p> <p>(9) 本細則は、昭和63年3月18日一部改訂した。</p> <p>(10) 本細則は、平成11年6月30日一部改訂した。</p> <p>(11) 本細則は、平成14年5月30日一部改訂した。</p> <p>(12) 本細則は、平成15年4月24日一部改訂した。</p> <p>(13) 本細則は、平成16年3月17日一部改訂した。</p> <p>(14) 本細則は、平成17年3月16日一部改訂した。</p>	<p>第9章 附則</p> <p>(1) 本細則は、昭和47年5月27日よりこれを実施する。</p> <p>(2) 本細則は、昭和48年9月11日一部改訂した。</p> <p>(3) 本細則は、昭和49年7月16日一部改訂した。</p> <p>(4) 本細則は、昭和50年11月6日一部改訂した。</p> <p>(5) 本細則は、昭和53年9月4日一部改訂した。</p> <p>(6) 本細則は、昭和58年11月18日一部改訂した。</p> <p>(7) 本細則は、昭和59年11月30日一部改訂した。</p> <p>(8) 本細則は、昭和62年8月3日一部改訂した。</p> <p>(9) 本細則は、昭和63年3月18日一部改訂した。</p> <p>(10) 本細則は、平成11年6月30日一部改訂した。</p> <p>(11) 本細則は、平成14年5月30日一部改訂した。</p> <p>(12) 本細則は、平成15年4月24日一部改訂した。</p> <p>(13) 本細則は、平成16年3月17日一部改訂した。</p> <p>(14) 本細則は、平成17年3月16日一部改訂した。</p> <p><u>(15) 本細則は、平成22年4月23日一部改訂した。</u></p>

平成 22 年度 23 年度役員候補者名簿

会務役職	定 数	候 補 者	備 考(非改選役員)
会 長	1 (1)	數 土 文 夫	
副 会 長	3 (1)	香 田 正 人	武 藤 滋 夫
”			山 下 勝 比 拓
庶 務	2 (1)	櫻 尾 博	渡 辺 隆 裕
国 際	1 (0)		村 松 正 和
研究普及	2 (1)	米 沢 隆	大 澤 義 明
編 集	2 (1)	山 本 芳 嗣	牧 本 直 樹
会 計	1 (1)	桑 畑 暁 生	
涉 外	1 (1)	小 沢 利 久	
広 報	1 (1)	猿 渡 康 文	
支 部	1 (0)		加 藤 直 樹
無 任 所	3 (2)	塩 出 省 吾	古 藤 浩
		西 崎 宏	
監 事	2 (1)	中 川 義 之	紀 一 誠

()内は平成 22 年度改選数

第 5 号議案

平成 22・23 年度代議員候補者名簿

	氏 名		氏 名		氏 名
1	井 垣 伸 子	2 6	齋 藤 司 郎	5 1	羽 鳥 彰 一
2	池 上 敦 子	2 7	佐 賀 井 重 雄	5 2	枇 々 木 規 雄
3	池 上 匡 亮	2 8	澤 木 勝 茂	5 3	福 居 文 継
4	伊 田 嘉 昌	2 9	三 道 弘 明	5 4	藤 野 直 明
5	伊 藤 大 雄	3 0	神 正 照	5 5	前 田 隆
6	井 野 口 稔	3 1	杉 野 隆	5 6	前 田 博
7	大 鑄 史 男	3 2	鈴 木 久 敏	5 7	増 山 繁
8	大 西 匡 光	3 3	鈴 木 道 夫	5 8	松 林 伸 生
9	大 橋 守	3 4	高 橋 理	5 9	水 野 眞 治
1 0	大 山 達 雄	3 5	高 橋 幸 雄	6 0	三 好 直 人
1 1	岡 野 裕 之	3 6	武 田 朗 子	6 1	森 田 浩
1 2	海 生 直 人	3 7	田 中 庸 平	6 2	諸 星 穂 積
1 3	加 地 太 一	3 8	田 辺 隆 人	6 3	矢 島 俊 彌
1 4	片 岡 靖 詞	3 9	玉 置 光 司	6 4	矢 島 安 敏
1 5	久 野 誉 人	4 0	田 村 明 久	6 5	矢 部 博
1 6	久 保 田 光 一	4 1	土 谷 隆	6 6	山 上 伸
1 7	栗 尾 孝	4 2	中 尾 芳 隆	6 7	山 下 英 明
1 8	栗 田 治	4 3	中 川 慶 一 郎	6 8	山 田 茂
1 9	腰 塚 武 志	4 4	中 出 康 一	6 9	若 山 邦 紘
2 0	小 島 平 夫	4 5	中 野 一 夫	7 0	和 多 田 淳 三
2 1	小 島 政 和	4 6	中 山 明		
2 2	後 藤 順 哉	4 7	生 田 目 崇		
2 3	古 林 隆	4 8	根 本 忠 明		
2 4	近 藤 幹 雄	4 9	根 本 俊 男		
2 5	今 野 浩	5 0	野 々 部 宏 司		